

平成24年度

病害虫情報(第6号)9月予報

平成24年8月30日
神奈川県農業技術センター所長

【 内 容 】

I 9月の主な病害虫の防除要否、発生・防除時期、防除の要点 …… 1
II 9月の病害虫発生予報の内容とその根拠 …… 8
III 9月の気象予報及び気象の経過 …… 11

農薬を使用する際は、使用基準を遵守するとともに飛散防止に努めましょう。
掲載農薬は一般的な場合を想定し、防除効果を優先して選定しています。
収穫期の作物が近接している場合など、個別に残留基準値の設定状況を考慮する必要
がある場合は関係機関にご相談ください。

病 害 虫 防 除 部 TEL 0463-58-0333
テレフォンプサービス TEL 0463-58-6612
インターネット <http://www.agri-kanagawa.jp/nosoken/boujo.asp>

* 農薬に関する情報は、平成24年8月20日までの農薬登録情報に基づいて記載しています。

I 9月の主な病害虫の防除要否、発生・防除時期、防除の要点

※ [防除要否] ◎:追加防除が必要 ○:通常防除 △:必要に応じて防除 ×:防除の必要なし

[発生・防除時期] ———— 発生時期 ~~~~ 多発時期 …… 感染時期 ←——→ 防除適期

作物名	病害虫名	発生 予想 (平年比)	防除 要否	発生・防除時期				今月の防除	防除のポイント
				9月			10月		
				上	中	下	上		
イネ	生育	並		《 登 熟 期 》				<生育調査：野菜作物研究部・キヌヒカリ>	
	斑点米 カメムシ類	並	△					アルバリン 又は スタークル顆粒水溶剤 [7日, 3回] 2,000倍 等	・トビイロウンカの飛来が認められたら直ちに防除する。 ・トビイロウンカの飛来情報については、当所ホームページ等で提供する。 ・アルバリン、スタークルはウンカ類(3,000倍)にも適用あり。
カンキツ	生育	やや遅		《 果 実 肥 大 期 》				<生育調査：足柄地区事務所根府川分室・普通温州>	
	黒点病	やや少	○	~~~~	~~~~	~~~~	~~~~	(予)ジマンドイセン水和剤 又は ペンコゼブ水和剤 (第18852号、第22346号、第22432号)※ みかん：[30日, 4回] 400~800倍 みかんを除くかんきつ：[90日, 4回] 600~800倍 等	・8月下旬に薬剤散布を行っていない場合は、秋雨前線が停滞する前に実施する。

※ 農薬名の後に農薬登録番号を記載している農薬は、その登録番号以外では適用内容が異なります。

病害虫情報

(H24・No.6)

神奈川県農業技術センター

作物名	病害虫名	発生予想 (平年比)	防除 要否	発生・防除時期				今月の防除	防除のポイント
				9月			10月		
				上	中	下	上		
カ ン キ ツ	かいよう病 (中晩柑類)	並	○	←→	~~~~~	~~~~~	~~~~~	(予)コサイドDF [-,-] 2,000倍 (予・治)カスミンボルドー 又は カッパーシン水和剤 みかん：[7日,5回] 1,000倍 みかんを除くかんきつ：[45日,5回] 1,000倍 等	・台風が予想される場合は予防散布を行う。 ・コサイド、カスミンボルドー、カッパーシンは、薬害軽減のためクレフノン（[-,-]200倍）を加用する。 ・ミカンハモグリガの食害痕から発病しやすいので、かいよう病発生園では必ずミカンハモグリガの防除を徹底する。
	チャノキイロ アザミウマ	やや少	○	~~~~~	~~~~~			テルスター水和剤 [前日,3回] 1,000~2,000倍 アクタラ顆粒水溶剤 [14日,3回]	・チャノキイロアザミウマは果頂部の加害に注意する。
	ミカン ハモグリガ	-	○					アザミウマ類、カメムシ類：2,000倍 ミカンハモグリガ：2,000~3,000倍 等	・園内をよく見回り、発生を確認したら防除する。
	カメムシ類	やや多	○	←→					
ツ	ミカンハダニ	やや少	○	←→			~~~~~	バリュースターフロアブル [7日,1回] 2,000倍	・果皮の食害が進まないうちに散布する。
	ミカンサビダニ	-	○	←→			←→	カネマイトフロアブル [7日,1回] 1,000~1,500倍 等	
ナ シ カ キ	生 育	並		《 収 穫 期 》				<生育調査：果樹花き研究部・豊水>	
	黒 星 病	多	◎				~~~~~	(予・治)ポリバリン水和剤 [14日,3回] 1,500倍 (予・治)オンリーワンフロアブル [前日,3回] 黒星病：2,000~4,000倍 うどんこ病：2,000倍	・黒星病は9月下旬~10月上旬の降雨により、来年の芽に感染し越冬するので、発病園では必ずこの時期に防除を行う。
	うどんこ病	やや多	○	←→	~~~~~	~~~~~	~~~~~	(予・治)ストロビードライフロアブル [前日,3回] 黒星病：3,000倍 うどんこ病：2,000~3,000倍 等	・ストロビー(2,000倍)は炭疽病にも適用あり。
カ キ	うどんこ病	やや少	○	←→	~~~~~	~~~~~	~~~~~	(予・治)ベルクート水和剤 [14日,3回] 1,000~1,500倍 (予・治)アミスター10フロアブル [7日,3回] 1,000倍 等	・ベルクートは、「西村早生」では葉に薬害が生じる。
	カメムシ類	やや多	○	←→				アクタラ顆粒水溶剤 [3日,3回] 2,000倍 テルスターフロアブル [3日,2回] 3,000倍 等	・園内をよく見回り、発生を確認したら防除する。

病害虫情報

(H24・No.6)

神奈川県農業技術センター

作物名	病害虫名	発生予想 (平年比)	防除 要否	発生・防除時期				今月の防除	防除のポイント
				9月			10月		
				上	中	下	上		
チ	生育	並		《秋芽生育期》				<生育調査：北相地区事務所研究課・やぶきた>	
	炭疽病 もち病	並 並	○ ○	←———→	~~~~~	~~~~~	~~~~~	(予・治) インターフロアブル [7日, 2回] 炭疽病：5,000～8,000倍 もち病：5,000倍 (予・治) アミスター20フロアブル [14日, 3回] 2,000倍等	・常発地では、必ず防除する。 ・アミスターは輪斑病、新梢枯死症(輪斑病菌による)にも適用あり。
ヤ	チャノキイロ アザミウマ	やや少	○	←———→				ロディー乳剤 [7日, 1回] チャハマキ：1,000倍 チャノキイロアザミウマ、チャノホソガ、チャノコカクモンハマキ、 チャノミドリヒメヨコバイ：1,000～2,000倍	
	チャノホソガ ハマキムシ類	並 やや多	○ ○					カスケード乳剤 [7日, 2回] チャノキイロアザミウマ、チャノホソガ、チャハマキ、 チャノコカクモンハマキ、チャノミドリヒメヨコバイ：4,000倍等	
	チャノミドリ ヒメヨコバイ	やや少	○						
促 成	炭疽病	やや多	○	~~~~~	~~~~~	(定植)		【育苗期】 (予) タフパール 炭疽病：[育苗期～前日, -] 2,000～4,000倍 うどんこ病：[発病前～発病初期, -] 2,000～4,000倍 (予・治) バイコラール水和剤 炭疽病：[育苗期, 3回] 2,500倍 うどんこ病：[前日, 3回] 5,000倍 (予・治) ベルクートフロアブル [育苗期 (定植前), 5回] 1,000倍	・炭疽病は、発病した株の治療効果は期待できないので、発病株とその隣接株は速やかに処分する。 ・タフパールとの散布間隔 (出光興産(株)ホームページより) バイコラール：3日以上、 ベルクート(水和剤)：10日以上
	うどんこ病	-	○	←———→		(定植)	←———→	【定植後】 (予) インプレッション水和剤 [発病前～発病初期, -] うどんこ病：2000倍 (予) サンヨール [前日, 6回] うどんこ病：500～1,000倍 (治) カリグリーン [前日, -] うどんこ病：800～1,000倍 等	
ゴ	アブラムシ類	並	○			(定植)	←———→	モスピラン粒剤 [定植時, 1回] 植穴土壌混和：0.5～1g/株 又は 株元散布：0.5g/株 オンコル粒剤5 [定植時, 1回] 植穴土壌混和 又は 植溝土壌混和：4kg/10a 等	・モスピランの「植穴土壌混和」及び「株元散布」は合計1回。「植穴土壌混和：1g/株」はコナジラミ類、コガネムシ類幼虫にも適用あり。

病害虫情報

(H24・No.6)

神奈川県農業技術センター

作物名	病害虫名	発生予想 (平年比)	防除 要否	発生・防除時期				今月の防除	防除のポイント
				9月			10月		
				上	中	下	上		
促 成 イ チ ゴ	ハダニ類	—	○	——(定植)—— ←————→				コテツフロアブル [前日, 2回] 2,000倍	・本ぼに持ち込まないよう防除を徹底する。 等 ・コテツはミカンキイロアザミウマ、シクラメンホコリダニにも適用あり。
	ハスモンヨトウ	やや少	○	~~~~~(定植)~~~~~ ←————→				コテツフロアブル [前日, 2回] 2,000倍 プレバソンフロアブル5 [前日, 2回] 2,000倍 アニキ乳剤 [前日, 3回] 2,000倍	・アニキ(1,000~2,000倍)はオオタバコガにも適用あり。 等
	コガネムシ類 幼虫	—	△	~~~~~(定植)~~~~~ ←————→				ダイアジノンSLゾル [ポット育苗時, 1回] 育苗ポット灌注: 500倍 (1,000L/10a) [定植前(本圃), 1回] 全面土壌混和: 25倍 (100L/10a)	・ダイアジノンの総使用回数は1回。
抑 制	葉かび病	—	○	————— ←————→				(予)インプレッション水和剤 [発病前~発病初期, —] 葉かび病: 500倍、うどんこ病: 500~1,000倍 (予・治)アフエットフロアブル [前日, 3回] 葉かび病: 2,000倍、うどんこ病: 2,000~4,000倍 (予・治)ベルコートフロアブル [前日, 3回] 2,000倍 等	・ベルコートはすすかび病にも適用あり。
	うどんこ病	—	○	————— ←————→					
ト マ ト	コナジラミ類 タバココナジラミ (TYLCV) アブラムシ類	並 (並) 並	○ ○	~~~~~ ←————→				アルバリン 又は スタークル顆粒水溶剤 [前日, 2回] コナジラミ類: 2,000~3,000倍 コルト顆粒水和剤 [前日, 3回] 4,000倍 モスピラン水溶剤 [前日, 3回] 2,000倍 エコピタ液剤 [前日, —] コナジラミ類: 100~200倍、アブラムシ類: 100倍 等	・モスピランはアザミウマ類にも適用あり。 ・エコピタ(100倍)はうどんこ病にも適用あり。

病害虫情報

(H24・No.6)

神奈川県農業技術センター

作物名	病害虫名	発生 予想 (平年比)	防除 要否	発生・防除時期				今月の防除	防除のポイント
				9月			10月		
				上	中	下	上		
抑 制 キ	うどんこ病	—	○	←			~~~~~	(予)ダコニール1000 [前日,8回] 1,000倍 (予)フルピカフロアブル [前日,4回] うどんこ病、褐斑病:2,000~3,000倍 (予)インプレッション水和剤 [発病前~発病初期,一] うどんこ病:500~1,000倍 (予)ハチハチ乳剤 [前日,2回] べと病、うどんこ病:1,000倍 (予・治)ベルコートフロアブル [前日,5回] うどんこ病、褐斑病:2,000倍 等	・多湿状態で施設を閉め切ると病気が蔓延するので、午後は換気に努める。 ・ハチハチは幼苗期に使用すると薬害を生じる恐れがある。
	べと病	—	○	←					
	褐斑病	—	○						
ユ ウ リ	アザミウマ類	やや多	○	~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~	ハチハチ乳剤 [前日,2回] 1,000~2,000倍 アファーム乳剤 [前日,2回] ミナミキイロアザミウマ:2,000倍 スピノエース顆粒水和剤 [前日,2回] アザミウマ類:5,000倍 モスピラン水溶剤 [前日,3回] アブラムシ類、ミナミキイロアザミウマ:2,000~4,000倍 コナジラミ類、ミカンキイロアザミウマ:2,000倍 コルト顆粒水和剤 [前日,3回] アブラムシ類、コナジラミ類:4,000倍 等	・ハチハチはウリノメイガにも適用あり。 ・アファームはトマトハモグリバエ、ウリノメイガ、ハスモンヨトウにも適用あり。 ・スピノエースはハモグリバエ類、ウリノメイガにも適用あり。 ・モスピラン(2,000倍)はウリノメイガにも適用あり。
	ミナミキイロアザミウマ (MYSV)								
	アブラムシ類 (CMV等)	並	○						
	コナジラミ類 (CCYV)	—	○						
ナ	アザミウマ類	やや多	○	~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~	アファーム乳剤 [前日,2回] 2,000倍 コテツフロアブル [前日,4回] 2,000倍 等	・アファームはハスモンヨトウ、マメハモグリバエにも適用あり。 ・コテツはハスモンヨトウ、ヨトウムシにも適用あり。
	ミナミキイロアザミウマ								
	ミカンキイロアザミウマ	並	○						
ス	オオタバコガ	並	○	~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~	コテツフロアブル [前日,4回] 2,000倍 アファーム乳剤 [前日,2回] 2,000倍 等	
	ハダニ類	並	○	~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~		
	チャノホコリダニ	並	○	~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~		
								コテツフロアブル [前日,4回] 2,000倍 マイトコーネフロアブル [前日,1回] ハダニ類:1,000倍 等	

病害虫情報

(H24・No.6)

神奈川県農業技術センター

作物名	病害虫名	発生予想 (平年比)	防除 要否	発生・防除時期				今月の防除	防除のポイント
				9月			10月		
				上	中	下	上		
ネギ	さび病 黒斑病	- -	○ △	~~~~~			~~~~~	<p>(予)ジマンダイセン水和剤 (第22345号)※ 又は ペンコゼブ水和剤 (第18852号、第22346号、第22432号)※ [14日, 3回] 600倍 (予・治)バルコート水和剤 (第18821号、第18825号、第18827号、第22955号)※ [30日, 3回] 2,000倍 等</p> <p>・ネギの農薬散布には、固着性のよい展着剤を必ず加用する。 ・さび病は、肥料不足や窒素過多にすると発病しやすい。初発は下葉にみられやすく、発生初期から定期的に農薬散布する。 ・ジマンダイセン、ペンコゼブはべと病にも適用あり。</p>	
	ネギアザミウマ	やや多	○	~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~		<p>モスピラン水溶剤 [7日, 3回] 2,000倍 アニキ乳剤 [3日, 3回] 1,000倍 ボタニガードES [発生初期, -] 500~1,000倍 等</p> <p>・アニキ(1,000~2,000倍)はシロイチモジヨトウにも適用あり。</p>
ダイコン	アブラムシ類 (CMV等)	並	○	~~~~~			~~~~~	<p>【は種時：粒剤施用】 オンコル粒剤5 アブラムシ類：[は種時, 1回] 3kg/10a アクタラ粒剤5 アブラムシ類：[は種時, 1回] 4kg/10a</p> <p>【発芽後：散布】 オルトラン水和剤 又は ジェイエース水溶剤 [14日, 2回] ダイコンシンクイムシ：1,500倍 アブラムシ類：1,500~2,000倍 パダンSG水溶剤 [7日, 3回] ダイコンシンクイムシ：1,000倍 アブラムシ類：1,500倍 等</p> <p>・オンコル(3~6kg/10a)はキスジノミハムシにも適用あり。 ・オルトラン(1,500倍)はカブラハバチにも適用あり。</p>	
	ハイマダラノメイガ (ダイコンシンクイムシ)	並	○	~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~		

病害虫情報

(H24・No. 6)

神奈川県農業技術センター

作物名	病害虫名	発生予想 (平年比)	防除 要否	発生・防除時期				今月の防除	防除のポイント
				9月			10月		
				上	中	下	上		
	べと病	—	○	(定植) ←	~~~~~	~~~~~	~~~~~	(予) Zボルドー [—, —] 500倍 (予・治) リドミルMZ水和剤 [30日, 3回] 1,000倍 等	・Zボルドーは、クレフノン([—, —] 100~200倍)を加用する。黒腐病、軟腐病にも適用あり。
キ	ハイマダラノメイガ	並	○	(定植) ~	~~~~~	~~~~~	~~~~~	【育苗期後半又は定植時：粒剤施用】 アクタラ粒剤5 ハイマダラノメイガ： [育苗期後半, 1回] 又は[定植時, 1回] 2g/株 コナガ：[育苗期後半, 1回] 2g/株 オンコル粒剤5 コナガ：[育苗期後半, 1回] 1~2g/株 又は[定植時, 1回] 3~6kg/10a(1~2g/株) 【定植前：苗地床灌注】 プレバソンフロアブル5 [育苗期後半~定植当日, 1回] コナガ：500倍 (苗地床1㎡あたり2L) 【定植前：セル成型育苗 又は ペーパーポット育苗灌注】 プレバソンフロアブル5 [育苗期後半~定植当日, 1回] ハイマダラノメイガ、ハスモンヨトウ、コナガ： 100倍 (1箱又は1冊あたり0.5L) ジュリボフロアブル [育苗期後半~定植当日, 1回] ハイマダラノメイガ、ハスモンヨトウ、コナガ： 200倍 (1箱又は1冊あたり0.5L) 【定植後：散布】 プレバソンフロアブル5 [前日, 3回] 2,000倍 フローバックDF [発生初期(但し、前日), —] ハイマダラノメイガ、オオタバコガ、ハスモンヨトウ：1,000倍 コナガ：1,000~2,000倍 スピノエース顆粒水和剤 [3日, 3回] ハイマダラノメイガ：5,000倍、コナガ：2,500~5,000倍 等	・アクタラはアブラムシ類([育苗期後半, 1回] 1~2g/株又は[定植時, 1回] 2g/株)にも適用あり。 ・オンコルはアブラムシ類にも適用あり。 ・プレバソンとジュリボ、ジュリボとアクタラはそれぞれ同一成分を含むので、重複使用しないこと。 ・プレバソンの【定植前：セル成型育苗又はペーパーポット育苗灌注】、【定植後：散布】はヨトウムシにも適用あり。 ・ジュリボはヨトウムシ、ネギアザミウマ、アブラムシ類にも適用あり。 ・フローバック(1,000倍)はヨトウムシにも適用あり。 ・スピノエース(2,500~5,000倍)はヨトウムシにも適用あり。
	オオタバコガ	並	○	(定植) ←	~~~~~	~~~~~	~~~~~		
	ハスモンヨトウ コナガ	やや少 並	○ ○	←	←	←	←		
ヤ									
ベ									
ツ									

病害虫情報 (H24・No.6) 神奈川県農業技術センター

Ⅱ 9月の病害虫発生予報の内容とその根拠

作物名 病害虫名	発生量		予報の根拠	作物名 病害虫名	発生量		予報の根拠
	程度	平年比			程度	平年比	
水稻 いもち病 (穂いもち)	少	やや少	1) 巡回調査では、葉いもちの発病が見られておらず、発生は平年よりやや少ない。(－) 2) 巡回調査では、穂いもちの発病が見られておらず、発生は平年並。(±) 3) いもち病常発地点で発生はみられず、過去の調査年と比べて少ない。(－) 4) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(±)	カンキツ チャノキイロ アザミウマ	少	やや少	1) 巡回調査では、発生は平年より少ない。(－) 2) 県予察ほでは、粘着トラップへの誘殺数は平年並。(±) 3) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(±)
紋枯病	少	やや少	1) 巡回調査では、発生は平年よりやや少ない。(－) 2) 生育診断ほでは、草丈は平年並、分けつ数は平年並～やや少なく、葉色は平年並。(－) 3) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(＋)	ナシ 黒星病	少	多	1) 巡回調査では、発生は平年より多い。(＋) 2) 県予察ほでは、発生は平年並。(±) 3) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(＋)
トビイロウンカ	少	並	1) 巡回調査では、発生は見られておらず平年並。(±) 2) 予察灯への飛来は、見られていない。(－) 3) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(±)	うどんこ病	中	やや多	1) 巡回調査では、発生は平年よりやや多い。(＋) 2) 県予察ほでは、発生は平年より多い。(＋) 3) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(±)
斑点米カメムシ類	少	並	1) 巡回調査では、発生は平年よりやや少ない。(－) 2) 予察灯への飛来量は、平年並。(±) 3) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(±)	ブドウ べと病	少	やや多	1) 巡回調査では、発生は平年よりやや多い。(＋) 2) 県予察ほでは、発生は平年より少ない。(－) 3) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(＋)
カンキツ 黒点病	少	やや少	1) 巡回調査では、発生は平年より少ない。(－) 2) 県予察ほでは、発生は平年よりやや少ない。(－) 3) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(＋)	カキ うどんこ病	中	やや少	1) 7月の巡回調査では、発生は平年よりやや少ない。(－) 2) 県予察ほでは、発病は見られず、発生は平年より少ない。(－) 3) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(±)
かいよう病 (中晩柑類)	少	並	1) 巡回調査では、発生は平年より少ない。(－) 2) 県予察ほでは、発生は平年より多い。(＋) 3) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(＋)	果樹全般 カメムシ類	少	やや多	1) 予察灯及びフェロモントラップへのチャバネアオカメムシの誘殺数は、平年より多い。(＋) 2) 県予察ほ(根府川)での予察灯及びフェロモントラップへの誘殺数は平年より多い。(＋) 3) 定点調査における、ヒノキ球果上のカメムシ寄生数は平年より少なく(－)、吸汁痕(口針鞘)数は平年並(±)。 4) 県下全域における8月中下旬のヒノキ球果吸汁痕(口針鞘)数は、移動分散目安を超えた場所がある。(＋) 5) ナシの巡回調査では、発生は平年並。(±) 6) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(±)
ミカンハダニ	少	やや少	1) 巡回調査では、発生は平年よりやや少ない。(－) 2) 県予察ほでは、発生は平年よりやや少ない。(－) 3) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(±)				

病害虫情報

(H24・No.6)

神奈川県農業技術センター

作物名 病害虫名	発生量		予報の根拠
	程度	平年比	
チャ 炭疽病	少	並	1) 巡回調査では、発生は平年よりやや少ない。(－) 2) 県予察ほでは、発生は平年より多い。(＋) 3) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(＋)
もち病	少	並	1) 巡回調査では、発生は平年並。(±) 2) 県予察ほでは、発病は見られず、発生は平年並。(±) 3) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(＋)
チャノキイロ アザミウマ	少	やや少	1) 巡回調査では、発生は平年よりやや少ない。(－) 2) 県予察ほでは、寄生は見られず、発生は平年より少ない。(－) 3) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(±)
チャノホソガ	少	並	1) 巡回調査では、発生は平年並。(±) 2) 県予察ほでは、発生は平年並。(±) 3) 予察灯(山北)の誘殺数は、平年より少ない。(－) 4) フェロモントラップの誘殺数は、山北は平年並(±)、県予察ほ(寸沢嵐)は平年より少ない(－)。 5) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(±)
ハマキムシ類 (発生時期)	少 －	やや多 (並)	1) 巡回調査では、発生は平年より多い。(＋) 2) 県予察ほでは、被害は見られず、発生は平年並。(±) 3) 予察灯(山北)の誘殺数は、平年より少ない。(－) 4) フェロモントラップの誘殺数は、山北は平年より少なく(－)、県予察ほ(寸沢嵐)は平年並(±)。 5) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(±)
カンザワハダニ	少	やや多	1) 巡回調査では、発生は平年よりやや多い。(＋) 2) 県予察ほでは、発生は平年より多い。(＋) 3) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(±)

作物名 病害虫名	発生量		予報の根拠
	程度	平年比	
チャ チャノミドリ ヒメヨコバイ	少	やや少	1) 巡回調査では、発生は平年よりやや少ない。(－) 2) 県予察ほでは、寄生は見られず、発生は平年並。(±) 3) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(±)
促成イチゴ 炭疽病	少	やや多	1) 巡回調査では、育苗期の発生は平年並。(±) 2) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(＋)
抑制トマト タバココナジラミ (TYLCV)	少	並 (並)	1) 7月の露地トマト巡回調査では、タバココナジラミの寄生が平年よりやや少なく(－)、トマト黄化葉巻病の発生は平年並(±)。 2) 野外設置の黄色粘着板へのコナジラミ類の誘殺数は、藤沢では前年より少なく(－)、伊勢原では前年並(±)。 3) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(±)
抑制キュウリ ミナミキイロアザミウマ	少	やや多	1) ナスの巡回調査では、寄生が平年よりやや多い。(＋) 2) 青色粘着トラップへの誘殺数は、平年並。(±) 3) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(±)
露地ナス アザミウマ類 ミナミキイロアザミウマ ミカンキイロアザミウマ	少 少	やや多 並	1) 巡回調査では、ミナミキイロアザミウマの寄生が平年よりやや多く(＋)、ミカンキイロアザミウマの寄生は平年並(±)。 2) 青色粘着トラップへの誘殺数は、ミナミキイロアザミウマ、ミカンキイロアザミウマともに平年並。(±) 3) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(±)

病害虫情報

(H24・No.6)

神奈川県農業技術センター

作物名 病害虫名	発生量		予報の根拠
	程度	平年比	
露地ナス ハダニ類	少	並	1) 巡回調査では、寄生が平年より少ない。(－) 2) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(±)
チャノホコリダニ	少	並	1) 巡回調査では、被害が見られず、発生は平年よりやや少ない。(－) 2) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(±)
アブラナ科野菜 ハイマダラノメイガ	－	並	1) 秋冬キャベツの巡回調査では、寄生は平年並。(±) 2) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(±)
コナガ	－	並	1) フェロモントラップへの誘殺数は、三浦で平年並(±)、横浜で平年より少ない(－)。 2) 県予察ほ(平塚)のフェロモントラップでの誘殺数は、平年より多い。(＋) 3) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(±)
ネギ ネギアザミウマ	甚	やや多	1) 巡回調査では、被害が平年より多い。(＋) 2) 青色粘着トラップへの誘殺数は、平年並。(±) 3) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(±)
シロイチモジヨトウ	－	やや少	1) フェロモントラップでの誘殺数は、三浦、横浜ともに平年より少ない。(－) 2) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(±)
野菜全般 アブラムシ類	少	並	1) ナスの巡回調査では、寄生が平年よりやや多い。(＋) 2) 県予察ほ(平塚)の黄色水盤への誘殺数は、平年より少ない。(－) 3) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(±)
ハスモンヨトウ	－	やや少	1) フェロモントラップへの誘殺数は、三浦、横浜ともに平年より少ない。(－) 2) 県予察ほ(平塚)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年より少ない。(－) 3) ナスの巡回調査では、被害が平年よりやや少ない。(－) 4) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(±)

作物名 病害虫名	発生量		予報の根拠
	程度	平年比	
野菜全般 オオタバコガ	－	並	1) フェロモントラップへの誘殺数は、三浦では平年並(±)、横浜では平年より少ない(－)。 2) 県予察ほ(平塚)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年より多い。(＋) 3) ナスの巡回調査では、寄生が平年よりやや少ない。(－) 4) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(±)

(注)「発生量」の表示・・・程度:甚>多>中>少>無

平年比:多>やや多>並>やや少>少

「予報の根拠」・・・(＋):多発要因 (－):少発要因

Ⅲ 9月の気象予報 (気象庁 地球環境・海洋部 8月23日発表 3か月予報)

〈天 気〉

天気は数日の周期で変わり、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。気温は、平年並または高い確率ともに40%です。

〈要素別予報〉

	低い(少ない)	平年並	高い(多い)
気 温	20%	40%	40%
降 水 量	30%	30%	40%

〈気象の経過〉 [観測地 横浜地方気象台]

8月第5半旬まで

気温は、1, 3～5半旬は平年より高く、2半旬は平年並だった。

降水量は、1～5半旬は平年より少なかった。

日照時間は、1, 4, 5半旬は平年より多く、2半旬は平年並、3半旬は平年より少なかった。

